

事務事業名		平成30年度評価替え画地評価見直し業務				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:5: 効率的な行財政運営によるまちづくり				所属課	税務課	担当	資産税担当
	施策名	0:3: 健全な財政運営の推進				課長名	柿沼 肇	担当者名	藤井 正典
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	地方税法・固定資産税評価基準
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (平成28 年度～平成29 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 平成30年度の評価替えに向けて、現在画地評価の入っていない宅地に対し画地評価を入れる。 なお事務量が多いため平成28年度より業務に入る。</p> <p>2 概算事業費 業務委託一式 5,810,400円 (H28 3,466,800円 ・ H29 2,343,600円)</p> <p>3 提案理由 これまで宅地の一部(住宅密集地等のみ約6,600筆)に画地評価を入れていたが、税の公平性からも残り2,000筆にも画地評価を入れることにより、固定資産税を公平に徴収したい。</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	町内のすべての宅地	名称	単位
→		ア 町内の宅地数	筆
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	画地評価が入っていない宅地	名称	単位
→		ア 画地評価が入っていない宅地数	筆
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	町民からの固定資産税を公平に徴収する。	名称	単位
→		ア 良かったと答えた人	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	筆	8,600				0
		実績値	筆					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0
対象指標	ア	目標値	筆	2,000				0
		実績値	筆					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0
成果指標	ア	目標値	%	100				0
		実績値	%					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円	3,467	2,344		0
		事業費計 (A)	千円	3,467	2,344	0	0

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	個人でするものではなく、税を徴収する側で行う事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	今すぐにも行わなくてはいけない業務だが、H30評価替えに間に合わせるよう今年度より実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	入札により業者を決定するので、コスト削減になる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	受益者(納税者)から負担させるものでない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 9 月 30 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業